

東小学校だより

NO. 7 (265号)

殺丘

令和6年7月18日

東小学校

文責：加藤 正一

今回も、【東小発！素敵な（楽しい）騒ぎ】2連発！！ ご紹介、いたします。

『交流会』～武蔵高等学校中学校の皆さん～ 7月17日(水)

武蔵高等学校中学校の2年生45名が、東小にお越しになりました。4年生・5年生・6年生は、東小をご案内しました。武蔵中の生徒の皆さんも自作VTRを用意して楽しく学校紹介を行ってくださいました。

その後、「武蔵中入試に挑戦！」。東小の子どもたちは、算数の問題に挑みました。当然、武蔵中の生徒の皆さんからのヒントや解説付きです。（いい、すごくいい。）

20分休みには、東小全校の子どもたちの良さ“誰にでもフレンドリー”が全開。

武蔵中の生徒の皆さんに、じゃんじゃん声をかけて、遊びに誘っていました。

（とても素晴らしい。）

武蔵中のみなさん、またお越しください。



やってみることが夢につながる～市川貴仁さん～ 7月17日(水)

パラリンピック北京大会スノーボード日本代表(↓)市川貴仁さんに、お越しいただきました。市川さん（いっちー）は、パラリンピック北京大会で入賞の凄い方です。次のイタリア大会では、「メダルを…」という夢（目標）をお持ちなのです。

夢（目標）の達成に向けて、「まずやってみること。そして、小さい目標（例えば毎日やる）と大きな目標（例えば優勝する）を持つこと、達成できたら、少しずつ目標を大きくすること、が大切」とお話ししてくださいました。

【やってみる⇒小さい目標⇒達成⇒成長⇒やってみる…】

市川さんは、22歳時、交通事故で、左足を失うという大変な状況乗り越えて、今は世界に挑戦するアスリートとなりました。子どもたちは、義足を見せていただいたり、日本チームのユニホームを着させていただいたり、感動も大きかったようです。講演会の後、子どもたちは、思い思いのものにサインをいただいていた。

がんばる気持ちが、どんどん沸いてくる、素敵なお話しをお聞きする貴重な機会となりました。市川さん、ありがとうございました。是非、また、お越しください。



※市川さんは、この後、ニュージーランド等での遠征合宿となるそうです。これまで10カ国くらいへ大会参加や遠征されています。トレーニング真っ盛りの中お越しいただきました。

2学期も【東小発！素敵な（楽しい）騒ぎ】ご期待ください。

7月17日(水) 東小の連携校【横浜国立大学教育学部附属鎌倉小学校】のお友だちが、昭和村で「ミッションに臨む」(探検)を行いました。白い帽子をかぶった鎌倉小の子どもが、昭和村の方々と交流しながら大冒険。今度は、11月に、東小の子どもたちが、鎌倉で大冒険を行う番です。鎌倉の方々のお力添えをいただきながら…。

1学期、子どもたちの頑張りや元気な笑顔がいっぱい見られました。とても嬉しいです。お力添えをいただいた、とても多くの地域住民の方々のお陰様です。ありがとうございます。2学期も、子どもたちの笑顔を増やせるように、お力添え願います。(加藤)